

## パックスジャポニカは来るのか



札幌市医師会  
札幌西の峰病院

山本 健治

思いつくままのまとまらない文章のほうが想像力を喚起すると、私の尊敬する精神科医：神田橋條治先生が述べられていたので、乱文のままをご容赦ください。

2011年の原発事故後、良くも悪くもこのような現在になっているとは思いませんでした。当時の私はIT音痴でしたので、TVニュースを頼りに4月に南相馬に行きました。すでにNHK職員は逃げ、地元には疎い若い自衛隊員たちと対照的に、ありのままの生活を送る人がいました。その後、日本近代史、マスコミについて考えはじめ、日本という国はなんなのかと歯がゆい気持ちが増しています。私の生まれは薩摩の圧政を受けた鹿児島の大隅という地方で、お上の言うことは絶対、軍国教育さながらの土地で、高校の修学旅行は山に放置された記憶があります。従順な国の下僕としてすくすくと育った私は過剰記憶の脳みそがあったので、三浦綾子の塩狩峠を読んだことを頼りに旭川医大に入りました。

さて、旭川には御料という土地があり、東の都として天皇家が関与したことや、旭川の永山という土地は鹿児島永山さんに由来することなどを最近知りました。

放射能については、やっと最近トリチウム水の問題が言われてきましたが、以前より村田元イス駐日大使が警告を鳴らしていました。まあ、イギリスのセラフィールド原発でもどこでも、汚染水を流してその辺の魚介は大きくなるのは有名です。その科学的見地、健康被害は政治利用されることが優先されることもあり、これ以上は言いません。

北海道といえば、外国による土地買収や水資源の収奪がひそかに行われ、ナマコやカニはあの国へ。また外国人留学生の優遇（日本人は奨学金破産、外国人は生活援助）が日本全国フラクタルではありますが、進行中です。

マスコミやwebに見られる最近の隣国叩きはかつての宗主国の分裂統治と武器売買の古典的手法が基底にあるように思います。隣国の甘えにノーと言えるようになったことは良いことですが、流されやすい日本人は要注意です。一億玉碎の再来は御免です。ウイグル弾圧や臓器移植問題など、現在の閉塞しつつも平和な日本を取り巻く世界的な視点を新聞などは報じてほしいものです。

うちの娘が12時までに行っている宿題を見ると、内容は貧困で意地悪ゲームのような問題です。勝ち残

るためのわびしい受験戦争に貴重な時間を費やしていることを親としては申し訳なく思います。いかにして生活していくか。世界や歴史を振り返れば、塙の中の「市民」にしか平等や人権はなく、奪い合い、殺し合いの歴史です。

勤労が悪で、金持ち父さんの書籍のような不労所得が賛美される西洋的価値観に違和感を覚えます。しかしながら、国益や外交に代表されるように、金融（工）学、帝王学、戦争論など、本当の学問は命がけの利益追求という現実があります。

さて、島国日本の田舎者の私は、黒潮にのって北海道に30年住んでいます。今は行き場のない老人の精神・身体管理センターです。親の年金がないと生活できない人、夜行バスの過剰勤務で疲労困憊の人、精神科医を超える知能で書籍を出版した人。いろんな顔が浮かびます。国、政治、経済のしわ寄せが医療に強く転嫁されています。ジャーナリストの堤未果が以前より警鐘していたTPP経済原理が恐ろしい速度で導入中です。日々実感します。

虎ノ門ニュースの武田邦彦先生が「男は生物学的に50歳以上生きる目的はない」と言っていました。希望ある日本に向けて50歳以上でも頑張っていけたらいいなと思っています。

将棋の世界では、いまだに新手、戦法が生まれています。対局者は安定した定石よりわざとカオスの局面に勝負を運んでいるように見えます。何か示唆的な印象を受けます。若手がAI研究で活躍する中、46歳でタイトル保持した木村九段など希望の星です。答えのない著しい速さで進む世界への対応のヒントがありそうです。医学の進歩も凄まじいと思います。しかしながら、人間自体はそんなに変わっていないように思います。有名な数学者岡潔は「人間の脳の首座は頭頂葉にあり、そこから生まれる情緒がもっとも大切である」と述べています。中今。今を生きることには込めるしかない、寄る辺なくも物事が明白にならんとする時代です。

パックスジャポニカ。日本大好きで日本の工場や職人業で活躍する外国人も増えています。アニメやポケモンなどのソフトパワーで世界を日本化するのがよいと思います。しかし、間に合わないかもしれません。首相が世界中でお金をばらまいて外交していますが、それでは世界に嫌われます。借りた相手は返したくないので、その国がなくなれば喜ぶます。中国と日本の債権国アメリカはやはり賢いですね。

皆様が素敵な1年をお過ごしになられますように。